

神奈川県肉豚共進会 3年ぶりに開催！

(一社)神奈川県養豚協会が主催する令和4年度神奈川県肉豚共進会が横浜市中心卸売市場食肉市場で開催され、5月18日(水)に生体の部、5月20日(金)に枝肉の部の審査が行われました。畜産技術センターでは、所長が審査長となり、普及指導課は審査員を務めました。また、各関係機関とともに共進会の運営にも協力しています。

共進会には去勢・雌を1組として88組・176頭が出品されました。審査は生体の部と枝肉の部を別々の日程で行い、それぞれの部の成績を合算し、去勢・雌の総合成績で順位を決定しました。各農場から選び抜かれた肉豚が出品され、特に枝肉の部では甲乙つけがたい優秀な枝肉がそろっており、審査も難航するレベルの高い共進会となりました。

名誉賞を取った生産者は、枝肉の部で去勢・雌ともに格付けが極上となり、前回開催からの連覇となりました。日頃取引をしている食肉市場での評価も高く、種豚・肉豚選抜の的確さ、飼養管理技術の高さ等の日頃の研さんの成果がうかがえました。

また、今回の共進会は、新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となり、生体の部は生産者の見学なしで関係機関のみで行いました。枝肉の部は感染防止を行いながら生産者の参加があり、当日は、上位入賞を果たした生産者を囲んで、上場された枝肉の状況や市場の買参人に好まれる枝肉について、活発な意見交換が行われました。

畜産技術センターは、今後とも出品された豚の体型や枝肉の形状の評価をふまえ、各農場の豚肉生産技術向上の支援に努めていきます。



(左) 枝肉の部 審査会場の様子



(右) 名誉賞の枝肉 (去勢 格付: 極上)